※令和４年度以降入学生用

学校番号	1013

令和８年度　理科

教科	理科	科目	生物	単位数	２単位	年次	３年前期
使用教科書	「生物」（啓林館）						
副教材等	「セミナー生物」（第一学習社）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

生物や生物現象を分子の変化や働き，動物や植物について主に個体レベルで見られる現象やその仕組み，生態や進化など生物界全体を概観する内容など，ミクロレベルからマクロレベルまで幅広い領域を学びます。生物の学習を通して，生物の不思議や生物の魅力を知るとともに，生物を取り巻く環境を大切にすることの重要性について，考えを深めてほしいと思っています。

2　学習の到達目標

生物には，共通性がみられると同時に多様性があること，多くの生物的・非生物的要因が互いに関与しており，それらの要因が有機的な関連をもって働いているという特徴がある。「生物基礎」に引き続き共通性と多様性という視点を重視するとともに，生物と環境との関わりが重要であることに注目する。そして生物と生物現象に関する基本的な概念や原理・法則の理解を深め，生物学的な探究の方法，生物や生物現象を分析的，総合的に考察する能力を身に付ける。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技能	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	生物や生物現象について、基本的な概念や原理・法則について理解を深め、知識を身に付けている。 生物や生物現象に関する観察、実験などを行い、基本操作を習得するとともに、それらの過程や結果を的確に記録、整理し、自然の事物・現象を科学的に探究する技能を身に付けている	生物や生物現象の中に問題を見いだし、探究する課程を通して、事象を科学的に考察し、導き出した考えを的確に表現している。	生物や生物現象の関係に関心をもち、主体的に探究しようとするとともに、科学的な見方や考え方を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学期末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

※令和４年度以降入学生用

４　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
前期中間	遺伝情報の発現と発生	発生と遺伝子の発現 バイオテクノロジー	a: 動物の発生・遺伝子の発現・遺伝子を扱った技術がわかる。観察,実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 動物の発生・遺伝子の発現・遺伝子を扱った技術について考えることができる。 c: 動物の発生・遺伝子の発現・遺伝子を扱った技術について調べようとする。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験
	生物の環境応答	刺激の受容と反応 動物の行動	a: 受容器、伝達、効果器のしくみ・生得的行動・学習行動がわかる。観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 受容器、伝達、効果器のしくみ・生得的行動・学習行動について考えることができる。 c: 受容器、伝達、効果器のしくみ・生得的行動・学習行動について調べようとする。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験
前期期末	生物の環境応答	植物の環境応答	a:植物の発生・植物ホルモンがわかる。観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 植物の発生・植物ホルモンについて考えることができる。 c: 植物の発生・植物ホルモンについて調べようとする。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験
	生態と環境	個体群と生物群集 生態系	a:個体群と生物群集・生態系と人間生活についてわかる。観察, 実験などに関する基本操作や記録などの基本的な技能を身に付けている。 b: 個体群と生物群集・生態系と人間生活について考えることができる。 c: 個体群と生物群集・生態系と人間生活について調べようとする。	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験 定期考査	学習状況 ノート ワークシート 観察・実験

※　表中の観点について　a:知識・技能　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度